

株主メモ

事業年度	12月1日から翌年11月30日まで
配当金受領株主確定日	期末配当 11月30日 中間配当 5月31日
定時株主総会	毎年2月
公告方法	電子公告(当社ホームページ) ただし、電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

UD
FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



〒103-8341 東京都中央区日本橋本石町四丁目4番20号
TEL 03(3279)5151

～株主の皆様へ～

ホームページのご案内

当社に関する情報がご覧になれます。



<http://www.hokkochem.co.jp/>

第63期 中間事業レポート

(平成23年12月1日から平成24年5月31日まで)



北興化学工業株式会社

●株主の皆様へ

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループの第63期上半期（平成23年12月1日から平成24年5月31日まで）の事業概況につきまして、ご報告申し上げます。

■ 上期の事業の経過および成果

当期間におけるわが国経済は、東日本大震災後の復興需要の高まりを背景として、内需関連業種を中心に持ち直しの兆しが見られ、また、個人消費についても需要刺激策の効果もあって改善に向かうなど、緩やかに回復いたしました。しかしながら、欧州債務問題の行方や円高の長期化、更には夏場の電力供給制約の企業活動への影響が懸念されるなど、景気の先行き不透明な状況が続いています。

国内農業におきましては、食料自給率の向上や農業の再生を目指して、政府による「戸別所得補償制度」などの諸施策が講じられているものの、

農業従事者の減少や高齢化、耕作地の減少など構造的な問題の解消にはいたらず、依然として厳しい環境にあります。

ファインケミカル業界におきましては、円高や世界的な需要低迷の長期化に加えて、国内企業並びに中国をはじめとする外国企業との価格競争が激しさを増しており、厳しい環境にあります。

このような状況のもと、当社グループは、積極的な販売に努めましたが、農業事業における水稲除草剤市場の流通在庫増加の影響や、ファインケミカル事業の需要が引き続き低迷したことなどにより、全体の売上高は218億1千4百万円（前年同期比9億1千9百万円の減少、同4.0%減）となりました。

営業利益につきましては、販売費及び一般管理費の節減に努めましたが、6億6千5百万円（前年同期比3千4百万円の減少、同4.8%減）となり、経常利益は、5億9百万円（前年同期比1千7百万円の減少、同3.3%減）となりました。

四半期純利益につきましては、法人税等の増加

により、9千7百万円（前年同期比1億1千5百万円の減少、同54.3%減）となりました。

なお、当期の中間配当につきましては、期初の予想通り一株につき4円とさせていただきましたので、ご案内申し上げます。また、年間の配当につきましては、8円とさせていただく予定でございます。

■ 通期の見込み

当社グループの通期の業績予想につきましては、当初発表どおり、売上高434億円、営業利益10億4千万円、経常利益8億2千万円、当期純利益2億9千万円を見込んでおります。

農業事業におきましては、安定した収益を確保できるよう、製造原価をはじめとする様々なコストの削減、業務の見直しによる生産性や業務効率の向上に努めます。

ファインケミカル事業におきましては、電子材

料原料、医薬品中間体、樹脂添加剤などの拡販並びに中国での販売強化に努めます。また、生産効率の向上に取り組むことにより、営業・製造両面から利益性改善を図ってまいります。

今後とも株主の皆様のご期待と信頼に応えるよう業績の向上を図るとともに、企業価値を高めてまいります。

株主の皆様におかれましては、一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年8月



代表取締役社長

中島喜勝

● 連結財務諸表(要旨)

● 第2四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別		
	当第2四半期 (平成24年5月31日現在)	前第2四半期 (平成23年5月31日現在)	前連結会計年度 (平成23年11月30日現在)
(資産の部)			
流動資産	31,802	32,539	30,029
固定資産	13,314	14,420	13,825
資産合計	45,116	46,959	43,853
(負債の部)			
流動負債	23,394	24,162	22,075
固定負債	8,603	9,069	8,544
負債合計	31,996	33,231	30,619
(純資産の部)			
株主資本	12,877	13,255	12,892
資本金	3,214	3,214	3,214
資本剰余金	2,608	2,608	2,608
利益剰余金	8,048	8,425	8,062
自己株式	△ 994	△ 992	△ 993
その他の包括利益累計額	242	474	342
その他有価証券評価差額金	523	755	633
繰延ヘッジ損益	△ 4	△ 5	1
為替換算調整勘定	△ 277	△ 277	△ 292
純資産合計	13,119	13,728	13,234
負債及び純資産合計	45,116	46,959	43,853

(注) 百万円未満の金額については四捨五入によっております。

● 第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	期別		
	当第2四半期 (平成24年5月31日まで)	前第2四半期 (平成23年5月31日まで)	前連結会計年度 (平成23年11月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,471	△ 1,079	2,619
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 900	△ 444	△ 1,013
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,642	1,871	△ 1,810
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	△ 29	△ 44
現金及び現金同等物の増減額	272	319	△ 249
現金及び現金同等物の期首残高	623	872	872
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	895	1,191	623

(注) 百万円未満の金額については四捨五入によっております。

● 第2四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別		
	当第2四半期 (平成24年5月31日まで)	前第2四半期 (平成23年5月31日まで)	前連結会計年度 (平成23年11月30日まで)
売上高	21,814	22,733	41,206
売上原価	17,011	17,676	32,001
売上総利益	4,803	5,057	9,205
販売費及び一般管理費	4,138	4,358	8,547
営業利益	665	698	658
営業外収益	189	193	583
営業外費用	345	365	742
経常利益	509	527	498
特別利益	0	4	8
特別損失	24	136	446
税金等調整前四半期(当期)純利益	485	394	60
法人税等	389	183	101
少数株主損益調整前四半期純利益又は当期純損失(△)	97	211	△ 41
四半期純利益又は当期純損失(△)	97	211	△ 41

(注) 百万円未満の金額については四捨五入によっております。

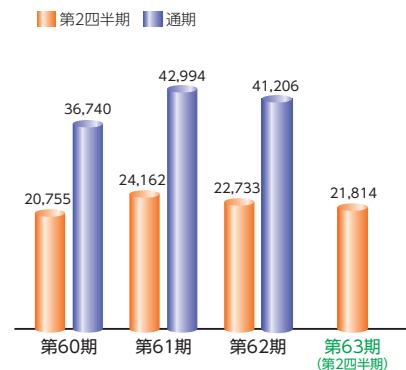
● 連結財務ハイライト

	第60期		第61期		第62期		第63期
	(第2四半期)	(通期)	(第2四半期)	(通期)	(第2四半期)	(通期)	(第2四半期)
売上高(百万円)	20,755	36,740	24,162	42,994	22,733	41,206	21,814
営業利益又は営業損失(△)(百万円)	143	△ 1,468	1,243	1,074	698	658	665
経常利益又は経常損失(△)(百万円)	△ 39	△ 1,755	1,076	740	527	498	509
四半期(当期)純利益又は四半期(当期)純損失(△)(百万円)	△ 371	△ 1,149	588	312	211	△ 41	97
1株当たり四半期(当期)純利益又は四半期(当期)純損失(△)(円)	△ 13.44	△ 41.59	21.31	11.32	7.65	△ 1.49	3.50
総資産(百万円)	48,208	44,031	47,886	46,664	46,959	43,853	45,116
純資産(百万円)	14,685	13,477	14,212	13,650	13,728	13,234	13,119

(注) 百万円未満の金額については四捨五入によっております。

■ 売上高

(単位：百万円)



■ 営業利益又は営業損失(△)

(単位：百万円)



■ 経常利益又は経常損失(△)

(単位：百万円)



■ 四半期(当期)純利益又は四半期(当期)純損失(△)

(単位：百万円)



■ 1株当たり四半期(当期)純利益又は四半期(当期)純損失(△)

(単位：円)



■ 総資産／純資産

(単位：百万円)



トピックス

農薬事業グループ

●新実験棟竣工（開発研究所）

開発研究所（神奈川県厚木市）では、昨年12月に建設を着工した新実験棟が完成し、7月5日に関係者参列のもと、竣工式が執り行われました。

地上2階建て延べ床面積1,000㎡の新実験棟では、1階に比較的大型の実験設備を設置し、2階には主に製剤研究施設を置き、新農薬製品開発のスピードアップと効率化を進めます。



新実験棟外観



竣工式

ファインケミカル事業グループ

●ファーマジャパン（医薬品原料国際展）出展

6月下旬に開催された、医薬品原料などファインケミカルのサプライヤーによる国際展「ファーマジャパン」（第6回・於東京ビッグサイト）に本年も出展いたしました。約5万人の来場者の中、当社ブースにも国内外の多くのユーザーにお越しいただき、医薬中間体およびその合成技術などに関する商談・技術交流を行いました。



●国際リン学会（ICPC2012）参加

7月中旬、「国際リン学会」（於オランダロッテルダム）に参加いたしました。当社の得意とする有機リン化合物の研究成果や合成技術などについて紹介し、学術関係者との活発な情報交換を行いました。

ファインケミカル事業グループでは、学会・展示会などでの技術交流により、創業以来60年以上にわたる有機化合物の合成技術と経験をさらに磨き、お客様のニーズに応えた製品開発に日々取り組んでいます。

会社の概要

（平成24年5月31日現在）

会社の商号 **北興化学工業株式会社**
 （英訳名） **HOKKO CHEMICAL INDUSTRY CO., LTD.**
 本社 東京都中央区日本橋本石町四丁目4番20号
 創立年月日 昭和25年2月27日
 資本金 32億1,395万円
 上場取引所 東京証券取引所 市場第1部上場
 従業員数 693名

役員・執行役員の状況

（平成24年5月31日現在）

取締役会長	丸山孝雄
代表取締役社長	中島喜勝
取締役専務執行役員	安部素生
取締役常務執行役員	小林淳一
取締役常務執行役員	小川裕二
取締役常務執行役員	内山次男
取締役常務執行役員	大場政幸
取締役	貫和之
取締役	大林守史
常勤監査役	白岩憲史
監査役	中崎正彦
監査役	高橋利隆
常務執行役員	渡辺英夫
執行役員	鎌木信良
執行役員	田村義昭
執行役員	大澤賛
執行役員	橋本哲芳
執行役員	森田健
執行役員	小柴修平

（注）1. 貫和之、大林守の両氏は、社外取締役であります。
 2. 白岩憲史、中崎正彦の両氏は、社外監査役であります。

株式の状況

（平成24年5月31日現在）

●発行可能株式総数 92,000,000株
 ●発行済株式の総数 29,985,531株
 ●株主数 5,869名
 （前期末比124名減）

連結子会社の状況

（平成24年5月31日現在）

会社名	資本金 (百万円)	当社の議決権比率 (%)
北興産業株式会社	30	100
美瑛白土工業株式会社	10	100
ホクコーパックス株式会社	10	100
張家港北興化工有限公司	1,800	100

（注）ホクコーパックス株式会社の当社の議決権比率には、間接所有40%を含んでおります。

事業所の所在地

（平成24年5月31日現在）

支店 札幌、秋田、仙台、東京、新潟、富山、
 名古屋、大阪、岡山、高松、福岡
 工場 北海道、新潟、岡山
 研究所 開発研究所（神奈川）、
 化成品研究所（神奈川）
 試験農場 北海道、静岡